

# 神経内科専門医研修ネットワークプログラム

## 1 はじめに

静岡県では神経内科専門医の資格取得を目指す方を対象に、今まで各病院において個別に提供されていた後期研修をネットワーク化し、複数の病院での研修を提供しています。

それぞれの病院の特徴を活かした専門研修により、幅広いフィールドで診療技術を身につけることができます。

- ◎ 静岡県で専門医資格取得に向けての病院で充実した研修に取り組みませんか？
- ◎ 皆さんの研修希望に、静岡県の神経科学会認定指導医がお手伝いをします。
- ◎ ふじのくに地域医療支援センターに御相談ください。(研修実施に向けた調整を行います。)

本プログラムは、オーダーメイド方式のプログラムです。研修（勤務）先病院については、プログラム責任者と面接し、個別のキャリア形成に応じて研修先の病院を決定します。

プログラム責任者 静岡県立総合病院神経センター長、主任医長 原田 清

1957年に群馬県高崎市に生まれる。1981年に京都大学を卒業後、京都大学医学部附属病院で研修する。1982年に宇部興産中央病院に勤務する。1984年に京都大学大学院に入学する。1988年に大学院修了後、京都大学医学部附属病院神経内科に勤務する。1990年に静岡県立総合病院神経内科に副医長として着任し、神経内科部長を経て、現在は神経センター長を務めている。専門は神経内科一般。日本神経学会専門医、日本脳卒中学会専門医、日本内科学会認定医。



若い先生方のご希望がどこにあるのか、我々には分かりにくいところがありますが、これまでは一つの病院で行っていた研修を複数の病院で行うことによって、それぞれの病院の特徴や疾患を経験してもらおうということです。旧来のやり方である、一つの病院に2年ぐらい勤める研修と比べますと、得意にしている分野が少しずつ異なっている病院を回って研修の方が望ましいのではないかと考えました。最終的に登らなくてはいけない山の頂点は一緒ですが、登り方は色々あっていいのではないのでしょうか。

後期研修3年目で受験資格を得られるような症例数はきちんと確保できます。プログラム参加は12病院とかなり多く、どの病院も地域にとってなくてはならない病院です。専門医試験に合格するような研修を進めていけることでしょう。

研修医の教育では、研修医をどの方向に伸ばしていくかということを考えています。多少は暴走気味であっても、きちんと修正しますので、積極的に取り組んでいただきたいです。技術は徐々に身に付きますので、患者さんを大事にする心を養ってほしいです。

静岡県ではこのほど10病院が集まってネットワークを作り、後期研修を支援していくことになりました。この12病院の中での1つの病院での研修もできますが、複数の病院をローテートしていくことも可能です。熱意のある初期研修医のご参加を皆でお待ちしています。是非、静岡県で後期研修を始めてください。

## 2 目的

卒後6年で日本神経学会専門医を取得することを目的にします。

特に、臨床神経学の基本である神経学的診察、神経学的検査に精通すること、また治療計画を立てて実施できることを目指します。

## 3 目標

日本神経学会で定められている目標症例を経験できるように、それぞれの病院の特徴を生かして研修します。研修では神経疾患全般にわたる症例数を増やして臨床神経学の研鑽を深めるように指導します。

## 4 研修カリキュラム

日本神経学会の専門医研修条件に準じます。原則的には、1年を単位に2つ以上の病院での研修を行います。

本神経学会の専門医受験の要件は、1) 卒後6年以上の臨床研修を終了していること、2) 日本神経学会の定める教育施設で3年以上、教育施設で2年以上かつ准教育施設を含めて3年以上、教育施設で2年以上かつ准教育施設・教育関連施設を含めて4年以上(准教育施設のみでの4年間を含む)の研修を終了すること、3) 日本神経学会会員歴が3年以上あること、4) 日本内科学会認定医を取得していること、です。

## 5 研修プログラムの決定

まずは静岡県の窓口でご相談ください。それぞれの病院のプロフィールなどはサイトでもご覧いただけます。その後、プログラム責任者が、研修10病院の中から複数病院において、どの病院で何カ月間、研修するのかといったことを決めていくオーダーメイド方式です。

## 6 研修病院群

静岡てんかん・神経医療センター、静岡県立総合病院、静岡市立清水病院、静岡赤十字病院、静岡済生会総合病院、焼津市立総合病院、中東遠総合医療センター、総合病院聖隷浜松病院、総合病院聖隷三方原病院、浜松労災病院、浜松医科大学医学部附属病院